

蛭ヶ岳～塔ノ岳（丹沢主脈縦走）

山行日：2019.5.3 会山行4名(他会員外1名) 天候：晴れ 記：t h
コース：橋本/6:53－三ヶ木/7:30－登山口/8:30－八丁坂ノ頭/10:40－姫次/11:00－
蛭ヶ岳/13:30－丹沢山/16:00－塔ノ岳－花立/18:05－大倉/20:20

予想に反して釜立沢林道のゲートが閉まっており登山口まで歩くことになってしまった



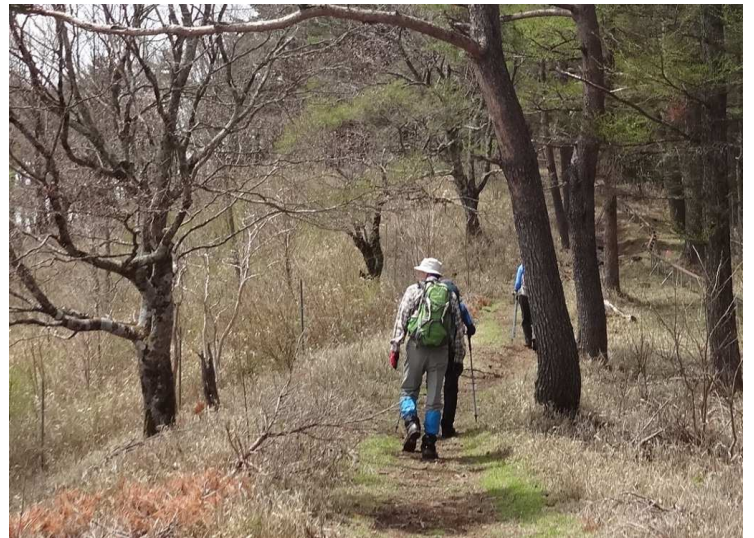
すぐに明るい支尾根に乗る



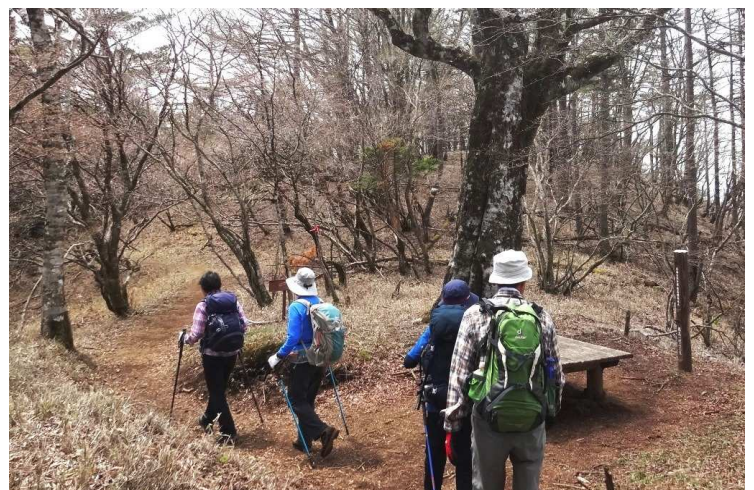
高度を上げて行き、やがてモノレールが出てくると稜線は近い



登山口から休憩も入れて僅か2時間で
稜線の登山道に合流する幸先よし



東海自然歩道最高標高地点通過、緩やかなブナ林を行く



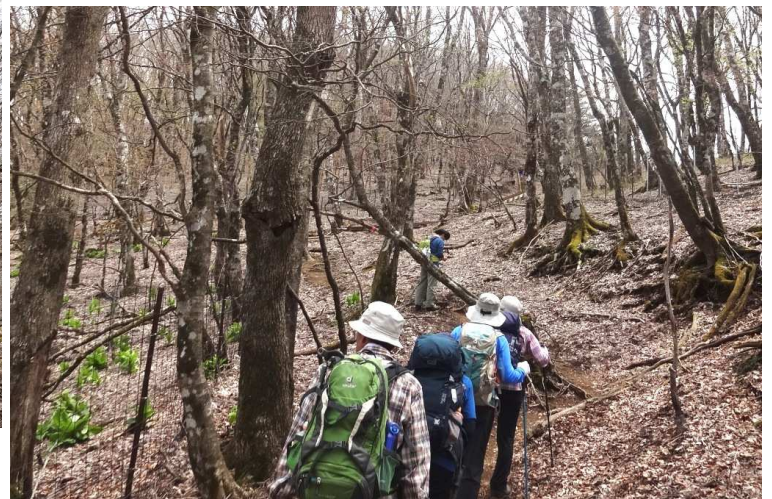


展望抜群の姫次に到着
富士山が正面に



檜洞丸と大室山の間
富士山

姫次から蛭ヶ岳山頂間は丹沢では堂平に次ぐブナ林エリア、本日より一番のハイライト



木道階段が山頂まで土壌流出を防ぐために延々とつづく



ブナ林地蔵平を振り返る



ようやく蛭ヶ岳山荘に





今は裸地となってしまった蛭ヶ岳山頂



高度成長による酸性雨や温暖化に伴い鹿が増えた事に伴う食害により衰退していったブナ林が延々とつづく
鬼ヶ岩岩場の急登



丹沢最高峰にふさわしい蛭ヶ岳の勇姿





縦走最後のお山、塔ノ岳が見えてきた
ようやく丹沢山みやま山荘着あと少しだ



歩きだして7時間が経過し疲労のピーク

さすがに山頂広場は閑散としていた時刻は17時20分
日暮れが気になり休憩もそこそこ下山にかかる



夕暮れ時刻となり真っ暗闇まであと僅か、できる限り岩場を降り切りたいと最後の踏ん張りどころ

黄昏時となり残された時間は少ない、花立山で
今日一日富士山と一緒に歩けたことに感謝、陽が沈んで行く



暗闇に浮かぶ誰もいない大倉バス停
計画通りに20時20分到着し39分発の
最終のバスがやってくるのを待った

